

市政に関する一般質問通告一覧

平成26年第5回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時	質 問 議 員
12月9日(火)	午後1時00分～	1. 沢田 清
		2. 松本 如美
		3. 中村 宗雄
12月10日(水)	午前9時30分～	4. 久世 孝宏
		5. 山本 博信
	午後1時00分～	6. 鈴木 幸彦
		7. 鈴木 好美
12月11日(木)	午前9時30分～	8. 山本 半治
		9. 竹内 功治
	午後1時00分～	10. 中川 健一
		11. 山内 悟
		12. 小出 義一

12月9日(火) 午後1時00分～

1. 3番議員 沢田 清 (創政会) 【一問一答】

1 半田運河を中心とする半田市の観光振興について

(1) 歴史的な建造物の活用について

- ①旧中糞半六邸の庭園整備の進捗状況と今後の進め方について
- ②NPO法人が着手する母屋の現状と今後のスケジュールについて
- ③旧中糞半六邸全体の今後の事業展開について
- ④小栗家住宅の今後の位置づけについて
- ⑤蔵の街エリアの位置づけについて

(2) 運河沿いの民間施設との連携について

- ①「MIZKAN MUSEUM」(愛称ミム)について
- ②ミツカンとの連携について

(3) 市内回遊性の向上について

- ①市内を回遊する観光客の現状について
- ②今後の回遊性向上策について

(4) 集客のためのPRについて

- ①市外からの集客のためのPRについて
- ②市内からの集客のためのPRについて

2. 17番議員 松本如美 (日本共産党) 【一問一答】

1 市営城ノ上住宅と市営上池東住宅の廃止について

(1) 一般質問に対する議会答弁後の対応について

①2011年(平成23年)9月議会の一般質問に対する市側答弁以降、どのような対応をしてきたか

(2) 城ノ上住宅と上池東住宅の現状と今後の方向性について

①2つの市営住宅は現在、どのような状況か

②今後、どのような対応を考えているか

2 自衛隊の広報活動と中学生の職場体験活動について

(1) 自衛隊愛知地方協力本部が各中学校に配布した自衛隊に関するチラシについて

①陸上自衛隊高等工科学校の案内チラシについて

②自衛官募集チラシについて

(2) 自衛隊に関わる職場体験活動について

①半田中学校で2009年まで実施していた「自衛隊体験」は、2010年以降は取り止めているか

②県下の中学校の中に、「自衛隊体験学習を実施」との報道がある中、半田市内の中学校ではどうか

(3) 憲法の理念に沿った平和教育の実践と検証を求める

①非核自治体宣言都市にふさわしい平和教育を

3. 13番議員 中村宗雄 (無所属) 【一問一答】

1 半田市消防団のあり方について

(1) 現在の半田市消防団のあり方について

①半田市として半田市消防団の設置目的、求める活動、そして期待することはなんですか

②半田市は半田市民が半田市消防団に対し、どのようなことを期待しているかをご存知ですか

③東日本大震災以降、半田市として半田市消防団に求める活動や期待することはどのように変化しましたか

(2) これからの半田市消防団のあり方について

①今後さらに市民の期待が高まることが予想される半田市消防団が、今後も市民の期待に十分に答えていくことは可能とお考えですか

②地域防災計画に沿った半田市消防団に対する教育訓練や発災時の行動計画・行動マニュアルの策定についてはどのようにお考えですか

③武豊町では、消防職員OBらで構成される分団が設立するとの報道がありましたが、半田市でも同様な取り組みを行う予定はありますか

2 半田市の中心市街地活性化のあり方について

(1) 現在の中心市街地活性化のあり方について

①半田市が出資しているまちづくり会社である「株式会社タウンマネジメント半田」は、いつ誰が何の目的で設立したのですか

- ②「株式会社タウンマネジメント半田」に対し、運営補助金として年 650 万円の税金を投入し続けて来ましたが、その費用対効果はどの様になっていますか
- (2) これからの中心市街地活性化のあり方について
- ①「株式会社タウンマネジメント半田」が今年度末をもって解散と噂されていますが、それは事実ですか
- ②もし事実なら、それは何を目的にどの様な狙いと効果を期待してのことですか
- ③法人解散後は「株式会社タウンマネジメント半田」が担っていた中心市街地活性化を図る事業等は、何処の誰が受け皿となって行う予定ですか
- ④国の方針では、「これからの中心市街地活性化はプロジェクトの絞込みと、施策の総動員による民間投資の喚起」とありますが、半田市のこれからの中心市街地活性化は、どの様な方向性でお考えですか

12月10日(水) 午前9時30分～

4. 18番議員 久世孝宏 (創政会) 【一問一答】

1 市民の声の把握と、市政への反映について

(1) 半田市の市民の声の把握について

- ①半田市の市民の声を聴く場には、どのようなものがありますか。それぞれの1年間の件数と合わせてお答えください
- ②多くの声が寄せられると思いますが、これらを例えば分野別に分け件数を把握するなど、整理して統計をとることをしていますか
- ③市民の意識調査のアンケートを、毎年でも実施し、半田市の財産とすべきと考えますがいかがですか
- ④市民の声を市政に反映できていますか

(2) アンケートの実施について

- ①平成25年度に実施したアンケートは何件ありますか
- ②それらのアンケートは、誰が作成し、分析していますか
市の職員が作成する場合、アンケート作成の知識や分析について、十分と言えますか
- ③アンケートの作成・分析方法について研修を行うべきと考えますが、いかがですか

(3) パブリックコメントのあり方について

- ①過去3年間のパブリックコメントを実施した件数と、意見をいただいた市民の人数を合わせてお答えください
- ②パブリックコメントを実施する計画について、たとえば喫茶店、飲食店、銀行など、気軽に読むことができる場所への配布をしてはどうですか

5. 12番議員 山本博信 (無所属) 【一問一答】

1 発達障がい児支援について

(1) 半田市の支援の現状

- ①市が把握している発達障がい児の人数と状況
- ②市が行っている支援の現状

- (2) 発達障がい児を早期発見する為の方策の現状
 - ①育児における子供の情緒や発達に対する親の不安などに対する相談窓口
 - ②保健センター・保育園・幼稚園・小学校などでの発見のあり方
 - ③発達障がいと思われる場合の保護者・家族への伝達と対応策の説明
 - ④発達障がいと思われる場合の保護者・家族の障がいに対する理解と容認を促す為の方策
 - ⑤発達障がいと思われる場合の保護者・家族に対する支援
- (3) 発達障がい児への支援
 - ①未就学児童・保育園・幼稚園・小学校・中学校での支援の現状
 - ②上記支援における課題
 - ③①の各組織間の連携の現状と課題
 - ④①の各組織と医療機関の連携の現状と課題
 - ⑤来年度からの児童発達支援センターの役割と期待すべき事
 - ⑥市内での発達障がいを専門とする医療機関の充実

12月10日(水) 午後1時00分～

6. 4番議員 鈴木幸彦 (創政会) 【一問一答】

1 住宅の耐震補強について

- (1) 市内木造住宅の耐震の現状について
 - ①耐震補強が必要な住宅、耐震診断実施数、住宅耐震補強工事の実績数を伺う
 - ②耐震シェルター、防災ベッドの施工実績数はどうか
 - ③住宅耐震補強工事に対する市の支援と補助金制度について伺う
- (2) 住宅耐震補強についての問題点を考える
 - ①住宅耐震補強工事の実績値が低いと思うが、何が原因だと考えているか。またその原因を解決させるためにどのような対策を講じてきたか
- (3) 今後の対策について
 - ①命を守るための対策として、住宅耐震補強工事の実績値、また耐震シェルターや防災ベッドの導入数を今後どのように増加させ、市民の安全を確保するのか
 - ②市の支援内容や補助金制度の拡充、見直しをする考えは
 - ③市内にまだ多くある耐震基準に満たない木造住宅に対して市は今後どのようにしたいと考えているか

7. 21番議員 鈴木好美 (公明党) 【一問一答】

1 防災教育について

- (1) 小、中学校の防災教育について
 - ①取組の現状について
 - ②取組の課題について
 - ③防災教育の意識を高めるためにも、ジュニア防災検定の考えはないか

2 インターネット依存対策について

(1) 小、中学校におけるネット依存について

- ①小、中学校の携帯電話、パソコンの使用時間など取扱いについての現状把握はどうか。
又、取り扱い規定はあるか
- ②ネット依存の実態や現状は
- ③ラインにおける取扱いはどの様に指導しているか
- ④闇サイトに対する説明はどの様に行っているか
- ⑤教員や学校カウンセラー、生活指導員など関係者へのネット依存に対する研修は

8. 20番議員 山本半治 (公明党) 【一問一答】

1 危険ドラッグ対策について

(1) 危険ドラッグ使用の撲滅について

- ①危険ドラッグの危険性をどう把握しているか
- ②「危険ドラッグはNO」をどう周知するか
- ③小中学校での危険ドラッグ教育の実施について

2 マイレポはんだの有効活用について

(1) マイレポはんだの運用について

- ①今日まで何件、何人の投稿があったか
- ②他市町からの視察の多い理由は何か
又、予定を含んで何件の視察があったか

(2) マイレポはんだの利用者拡大について

- ①更なる市民への周知について
- ②若い世代への対策について
- ③高齢者への対策について

12月11日(木) 午前9時30分～

9. 1番議員 竹内功治 (志民ネット) 【一問一答】

1 半田市における観光振興について

(1) 半田市の観光の現状について

- ①半田市の観光の魅力について
- ②現状の観光客数、経済効果について
- ③3年後、10年後、それ以降の観光客数、経済効果の目標について

(2) 知多半島観光圏による広域観光の推進について

- ①広域観光の現状について
- ②広域観光の具体的な取組について
- ③広域観光の目標について
- ④外国人の誘客について

(3) これからの観光振興について

- ①観光プロモーション事業について

- ②おもてなしの観光の推進について
- ③ゆるキャラ「だし丸くん」等の活用について
- ④食による観光振興について
- ⑤観光資源の充実と新たな掘り起こしについて

10. 11番議員 中川健一（無所属） 【一問一答】

1 榊原純夫市長の無駄遣い政策について

- (1) 2014年4月より市長は自らの判断により当初年収1,535万円だったものを年収86万円上げて年収1,621万円にしたのは身を切る改革とは真逆の行動だ
 - ①2014年11月17日、7-9月期の実質GDP成長率を0.4%減、年率換算で1.6%減と政府発表がありました。アベノミクスの成果が市民の財布まで及んでいない現状です。半田市民の給料が増えていないのに市長が自分の給料を率先して増やしたのは間違った政策と考えますがどうですか
- (2) 知多半田駅前土地区画整理事業は20年以上の歳月と税金約280億円を投じたにも関わらず、中心ビルのクラシティは約1/3が空き店舗、知多半田駅前地域は約1/4が空き地と駐車場となっている。完全に失敗事業だが市長はどう責任を取るつもりか
 - ①この事業の目的である商売の都半田を復活させることは実現できず、税金の使い道としては失敗であった、と考えますがいかがでしょうか
- (3) JR武豊線高架化関連事業約242億円（半田市税約90億円）は半田市民は誰も困っていない、目的も意味もない、費用対効果も無い全くの税金の無駄遣いだ
 - ①半田市民のどのような、何人ぐらいの方からこのような要望がありましたか
- (4) 赤レンガ建物観光拠点化関連事業約23.4億円（赤レンガ建物の中を観光ツアーバス客のための施設整備21.7億円、周辺整備1.7億円）およびJTBの子会社に概ね毎年約7,500万円の委託料を5年間支払い観光拠点の運営を委託するのは馬鹿げた税金の使い方だ
 - ①赤レンガ建物を観光拠点化することについて、どのような団体から何人ぐらいの要望がありましたか
 - ②委託をする、と言う法的意味は、仮に赤字が続く場合の損失補てんや問題が起こった場合の責任は市長が負う、と言うことで良かったでしょうか
- (5) 半田市野外活動センターは平成元年に1億4,300万円投資し開設、バンガロー12棟（1棟6人用）、常設テント5張、年間管理費用は概ね年間550万円の小規模なキャンプ場である。民間で同様の事業が多くあり、半田市がわざわざやる必要性はない。即刻廃止すべきである
 - ①平成26年11月11日の全員協議会で、3年後の平成29年10月31日に利用終了とする、との説明がありました。平成26年10月31日で利用終了できない理由は何ですか
- (6) 福祉文化会館自主文化事業予算額約1,700万円は、民間に同様の事業が多くあり、テレビでも見られる内容も多くある。税金を使ってまで市役所が直営でやる事業ではないので廃止すべきである
 - ①この事業を行うことにより半田市民の文化レベルはどう上がりましたか
- (7) 長寿のお祝い金制度は予算額約560万円である。この予算のほとんどは88歳、99歳以上の高齢者への祝金一人1万円だが、お祝いの気持ちを伝えるのであれば、紅白饅頭で

十分ではないか

①お祝いとして、紅白饅頭を配るのではなく、祝金1万円を配るまともな理由は何ですか

(8) はんだまちづくりひろば事業はボランティアや市民活動支援のために、社会福祉協議会へ約1,000万円を委託し、コーディネータ1人、臨時職員2人を雇っている。市民活動の専門家ではない社会福祉協議会へ委託する事業は廃止をして、ボランティア団体や市民活動団体の活動へ削減した約1,000万円を直接助成の方が合理的ではないか

①平成22年度に登録団体数が171、平成25年度に176団体で、横ばいで、たいした成果は上がっていないと考えます。11月11日発表の3か年実施計画で、これまで同様に今後3年間も毎年約1,000万円を助成するのは単なる前例踏襲で無駄はないでしょうか

2 無駄遣いが放置される一方、半田市民にとって切実な事業が市長によってサボタージュされている

(1) 名鉄住吉町駅付近の国道247号交差点および踏切渋滞、岩滑の半田口駅周辺の同様の問題放置や農家任せの畜産臭気対策、未実施の病児保育所、小学校の体育館の吊り天井の耐震補強未実施、幼稚園や小学校へのエアコン未設置、走らないコミュニティバスなどについて

①名鉄住吉町駅付近の国道247号交差点および踏切渋滞など要旨に記載をした現実に起こっている問題に正面から取り組まず、主題1で指摘をした8つの無駄な事業を優先させる理由は何ですか

12月11日(木) 午後1時00分～

11. 16番議員 山内 悟 (日本共産党) 【一問一答】

1 格差是正のために、福祉施策の前進を

(1) 国民健康保険の改善について

①国保税の引き下げによる影響はどうでているか

②減免制度の拡充を図るべきではないか

③滞納者への対応について

④18歳未満の子どもについて、均等割の対象からはずすべきではないか

2 新美南吉生誕100年の成果をひきつぐために

(1) 名鉄「半田口」駅を、「南吉駅」に変えてはどうか

①観光施策に寄与すると考えるがどうか

②検討したことはあるか

③名鉄に要請したことはあるか

④名鉄「半田口」駅を、「南吉駅」に変える場合の費用負担はどのくらいか。それは誰が負担するのか

12. 7番議員 小出 義一 (志民ネット) 【一問一答】

1 子ども・子育て支援新制度に対応した保育の体制づくりについて

(1) 子ども・子育て支援新制度をどのように捉えているか

- ①半田市に於ける、新制度の必要性について
- ②“保育に欠ける”と“保育を必要とする”との違いでどのようなニーズを受け入れることになるのか

(2) 新制度の目的と目標について

- ①新制度に沿った保育拡充の目的をどのように捉えているか
- ②新制度によって、待機児童をどのように解消し改善していくのか

(3) 現状とニーズ予測と計画値と申込者数について

- ①ニーズ予測と現状との乖離があるが、どのような理由が考えられるか
- ②ニーズの見直しは、どのような理由で行ったのか
- ③新年度の低年齢児における入園申込受付は計画数と比較してどのような結果か

(4) 新たな保育ニーズへの対応について

- ①計画値と受け入れ定員数には、0才児で約50名、1～2才児で約200名の差があるが、受け入れ計画をどのように考えているか
- ②運営形態について計画はあるか
- ③中学校区毎に、体制をつくるべきと考えるが如何か